

3-2. 加点制度

2 特定の資格や経歴等による加点制度

(岩手県)

対象となる校種・教科	中学校、高等学校及び特別支援学校中学部・高等部の外国語(英語)受験者	新規・継続	継続					
No.	資格要件	加点内容	加点対象科目の満点					
1	実用英語技能検定準1級以上(平成24年4月1日以降取得に限る)	1次試験の得点に20点(特支は10点)加点	300点					
2	TOEIC730点以上(平成24年4月1日以降の公開テスト受験に限る)	1次試験の得点に20点(特支は10点)加点	300点					
3	TOEFL(iBT)80点以上(平成24年4月1日以降の受験に限る)	1次試験の得点に20点(特支は10点)加点	300点					
		(複数該当する場合も加点は20点) (特支は10点)						
資格要件の確認方法		合格証書、又は得点証明書の写しを提出させ確認						
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)		7	8	1			16
	平成28年度採用者数(名)		6	3	1			10
	平成29年度受験者数(名)		9	9	0			18
	平成29年度採用者数(名)		2	3	0			5
	平成30年度受験者数(名)		13	7	0			20

(福島県)

対象となる校種・教科	小・特支小学部、中・高・特支英語、高・特支志願者	新規・継続	本年度新規					
No.	資格要件	加点内容	加点対象科目の満点					
1	英検2級、TOEFL iBT45点以上(PBT450点以上でも可)、TOEIC550点以上	小・英語教科2点	20点					
2	英検準1級、TOEFL iBT80点以上(PBT550点以上でも可)、TOEIC730点以上	中・英語12点	120点					
3	英検1級、TOEFL iBT96点以上(PBT590点以上でも可)、TOEIC880点以上	高・英語12点	120点					
4	情報の免許を持っている者	教科に6点	50点、70点、120点					
資格要件の確認方法		志願書に必要事項を記入、証明書のコピー等を提出						
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)	31	0	21	3	0		55
	平成29年度採用者数(名)	10	0	3	1	0		14
	平成30年度受験者数(名)	38	9	31	2	0		80

※小英語加点者38名、中英語加点者9名、高英語加点者6名、情報加点者25名、特支英語加点者1名、情報加点者1名

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(茨城県)

対象となる校種・教科		一般選考で受験する小・中・高・特教諭	新規・継続					継続	
No.	資格要件		加点内容					加対象科目の満点	
1	博士号を取得し、受験する学校種・教科の普通専修免許状を有する方(全校種)		20点					各校種とも第1次試験の合計点に20点を上限として加点。 合計点は、小学校740点、実技試験を課す教科(科目)700点、中学校英語700点、高等学校英語800点、特別支援学校760点、それ以外の教科(科目)700点。	
2	英検準1級以上、TOEFL iBT80点以上、TOEIC730点以上、TOEIC&TOEIC SW1028点以上、GTEC CBT1197点以上のいずれかの英語の資格を有する方(全校種(高校英語を除く))		20点						
3	英検2級以上、TOEFL iBT53点以上、TOEIC540点以上、TOEIC&TOEIC SW710点以上、GTEC CBT925点以上のいずれかの英語の資格を有する方(小・中・特別支援学校(英語を除く))		10点						
4	「情報」の普通免許状を有する方(高等学校)		10点						
5	「地理歴史」の受験者で「公民」の普通免許状を有する方(高等学校)		10点						
6	「公民」の受験者で「地理歴史」の普通免許状を有する方(高等学校)		10点						
7	「福祉」又は「看護」の普通免許状を有する方(高等学校)		10点						
8	「家庭」の受験者で、「福祉」の普通免許状を有する方(高等学校)		20点						
9	司書教諭の資格を有する方(全校種)		5点						
10	特別支援学校教諭等の普通免許状を有する方(小・中学校)		5点						
11	中学校教諭の複数教科の普通免許状を有する方(中学校)		5点						
12	小学校教諭と中学校教諭の両方の普通免許状を有する方(小・中学校)		5点						
13	小学校、中学校及び高等学校の3校種の普通免許状を有している方(特別支援学校)		10点						
14	小学校及び中学校、又は小学校及び高等学校の2校種の普通免許状を有している方(特別支援学校)		5点						
15	中学校及び高等学校教諭の数学の普通免許状を有している方(特別支援学校)		10点						
資格要件の確認方法		出願時に、加点申請書を提出する。既得の免許状等については、その写しに原本証明を付して、受付期間内に持参又は郵送により提出する。取得見込みの免許状については、その取得見込証明書を、受付期間内に持参又は郵送により提出する。司書教諭の資格を有する証明書類については、「司書教諭講習修了証書」又は「単位修得証明書(司書教諭)」及び「司書教諭講習修了証書申込書」の写しを、受付期間内に持参又は郵送により提出する。ただし、大学在籍者で、「司書教諭講習修了証書申込書」を受付期間内に提出することができない場合には、「単位修得証明書(司書教諭)」のみで、申請を受け付ける。「単位修得証明書(司書教諭)」及び「司書教諭講習修了証書」を取得後、速やかに提出する。(提出期限:平成30年3月31日)							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	397	197	94	55			743
		平成28年度採用者数(名)	178	75	22	25			300
		平成29年度受験者数(名)	378	168	111	44			701
		平成29年度採用者数(名)	181	66	18	19			284
		平成30年度受験者数(名)	390	147	88	46			671

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(栃木県)

対象となる校種・教科		高等学校(国語、地理、歴史、公民、数学、物理、化学、生物、音楽、美術、書道、保健体育、家庭、英語)		新規・継続		本年度新規				
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点				
1	一般選考で出願する者で、情報の普通免許状を既に取得あるいは平成30年3月31日までに取得見込み確実の者			5点		100点				
2	一般選考で出願する者で、調理師の資格を既に取得している者(高等学校(家庭))			5点		100点				
資格要件の確認方法		証明書等の原本及び写し								
実施状況				小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)									0
	平成28年度採用者数(名)									0
	平成29年度受験者数(名)									0
	平成29年度採用者数(名)									0
	平成30年度受験者数(名)					5				5

(群馬県)

対象となる校種・教科		小学校・中学校、高等学校、特別支援学校		新規・継続		本年度新規				
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点				
1	「小学校」出願者で中学校免許状を併せて所有する人			10点						
2	「中学校」出願者で小学校免許状を併せて所有する人			10点						
3	「高等学校」出願者で高等学校「情報」の教員免許状を併せて所有する人			10点						
4	「高等学校・地理歴史」出願者で高等学校「公民」の教員免許状を併せて所有する人			10点						
5	「高等学校・公民」出願者で高等学校「地理歴史」の教員免許状を併せて所有する人			10点						
6	「高等学校・家庭」出願者で高等学校「福祉」の教員免許状を併せて所有する人			10点						
7	「特別支援学校」出願者で「中数学」「高数学」「中音楽」「高音楽」「中美術」「高美術」「高工芸」の教員免許状を所有する人			10点						
資格要件の確認方法										
実施状況				小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)									0
	平成28年度採用者数(名)									0
	平成29年度受験者数(名)									0
	平成29年度採用者数(名)									0
	平成30年度受験者数(名)			186	361	102	13			662

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(埼玉県)

対象となる校種・教科		小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教員・栄養教員	新規・継続	継続				
No.	資格要件		加点内容	加点対象科目の満点				
1	国際貢献活動(全志願区分)…独立行政法人国際協力機構の規定に基づく青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、出願時までに24か月以上の国際貢献活動経験を有する者。		1次試験の合計点に10点	200点				
2	英語に関する資格等 ○小学校教員…英語の中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状を所有している者(取得見込みは不可)。 ○中・高英語教員…次のア～ウのいずれかに該当する者。ア:実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)1級合格者。イ:TOEIC Listening & Reading Test(国際ビジネスコミュニケーション協会)895点以上の取得者。ウ:TOEFL(国際教育交換協議会)iBT100点以上取得者。		1次試験の合計点に10点	200点				
3	スポーツ実績(中・高教員)…次のア、イのいずれかに該当する者。 ア:指定された大会(国際大会・国内大会)に選手として登録された者。 イ:剣道四段以上又は柔道四段以上の者。(中学校のみ)		1次試験の合計点に20点(ア国際大会)10点(ア国内大会)5点(イ)	200点				
4	特別支援学級担当(小・中)…次のア、イの両方を満たす者。ア 特別支援学校教諭普通免許状を所有している者。イ 小・中学校の特別支援学級等での特別支援教育担当教員を強く希望する者。※この加点を受けて合格した者は、埼玉県公立小・中学校の特別支援学級担任として優先的に配置する。		1次試験の合計点に10点	200点				
5	英語以外の外国語の教員免許 ○高校教員(国語)…中国語の高等学校教諭普通免許状を所有している者(取得見込みは不可)。※この加点を受けて合格した者は、中国語を担当することがある。 ○高校教員(英語)…ドイツ語、フランス語、中国語のいずれかの高等学校教諭普通免許状を所有している者(取得見込みは不可)。※この加点を受けて合格した者は、ドイツ語、フランス語、中国語を担当することがある。		1次試験の合計点に10点	200点				
資格要件の確認方法		証明書等の原本及び写し						
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	35	81	37	1	0	0	154
	平成28年度採用者数(名)	7	10	11	0	0	0	28
	平成29年度受験者数(名)	44	89	46	3	0	0	182
	平成29年度採用者数(名)	7	21	15	1	0	0	44
	平成30年度受験者数(名)	118	63	38	0	0	0	219

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(新潟県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	新規・継続	継続					
No.	資格要件	加点内容	加点対象科目の満点					
1	小学校教諭の受検者で、中学校教諭「英語」又は高等学校教諭「英語」の普通免許状も所有する者	10点	300点					
2	中学校教諭「音楽」「美術」「技術」「家庭」の受検者で、中学校の出願する教科以外の普通免許状も所有する者	10点	300点					
3	高等学校教諭の受検者で、「情報」の普通免許状も所有する者	10点	300点					
4	高等学校教諭「書道」の受検者で、高等学校教諭「国語」の免許状も所有する者	10点	300点					
5	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭の受検者で、特別支援学校教諭の普通免許状も所有する者	10点	300点					
6	小学校教諭、中学校教諭、特別支援学校教諭の受検者で、小学校教諭と中学校教諭の普通免許状を共に所有する者	10点	300点					
7	小学校教諭の受検者で、実用英語技能検定2級以上、TOEIC 540点以上、TOEFL PBT480点以上若しくはCBT 173点以上、iBT 61点以上の取得のうち、いずれかの資格を有する者	5点	300点					
8	高等学校教諭「家庭」の受検者で、調理師の資格を有する者	5点	300点					
9	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭の受検者で、司書教諭の資格を有する者	5点	300点					
資格要件の確認方法		出願時に、免許状及び資格を証明する書類の写しを提出、第1次検査時に、原本を持参。						
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	78	15	26				119
	平成28年度採用者数(名)	31	4	4				39
	平成29年度受験者数(名)	157	57	36	14			264
	平成29年度採用者数(名)	50	6	0	5			61
	平成30年度受験者数(名)	173	48	31	6			258

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(富山県)

対象となる校種・教科		資格要件により異なる	新規・継続					継続	
No.	資格要件		加点内容					加点対象科目の満点	
1	特別支援学校教諭免許を出願時に有する。 (対象校種・教科:小学校、中学校・高等学校)		総合点に5点を加点					総合点 250点	
2	中学校教諭(英語)又は高等学校教諭(英語)免許を出願時に有する。 (対象校種:小学校)		総合点に5点を加点					総合点 250点	
3	以下のいずれかを有する。 ・実用英語技能検定(財)日本英語検定協会)準1級以上 ・TOEIC((財)国際ビジネスコミュニケーション協会) 730点以上 ・TOEFL(国際教育交換協議会) iBT80点以上またはPBT550点以上 (対象校種:小学校、中学校・高等学校、特別支援学校)		総合点に5点を加点					総合点 250点	
資格要件の確認方法		出願時に要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させている。 ただし、資格要件1, 2で、免許を取得見込みの者は、平成30年3月31日までに要件を満たすことを証明する書類の写しを提出させる。							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)							0
		平成28年度採用者数(名)							0
		平成29年度受験者数(名)							0
		平成29年度採用者数(名)							0
		平成30年度受験者数(名)							0

※受験者数、採用者数は非公表。

資格要件1,2に限り、平成30年3月31日までに取得できる見込みの者を含む。

資格要件2,3は、複数所有の場合も5点のみの加点とする。

(福井県)

対象となる校種・教科		中学校、高等学校	新規・継続					継続	
No.	資格要件		加点内容					加点対象科目の満点	
1	【中高英語】TOEIC900以上／TOEFLiBT100以上／英検1級		15点					(1次)200点 (2次)500点	
2	【中高英語】TOEIC730以上／TOEFLiBT80以上／英検準1級		10点					(1次)200点 (2次)500点	
3	【中高英語以外】TOEIC730以上／TOEFLiBT80以上／英検準1級以上		15点					(1次)200点 (2次)500点	
4	【中高英語以外】TOEIC600以上／TOEFLiBT65以上		10点					(1次)200点 (2次)500点	
5	【中高英語以外】TOEIC540以上／TOEFLiBT57以上／英検2級		5点					(1次)200点 (2次)500点	
6	【中高英語、中高国語】中国語検定2級以上／HSK5級以上／中国語コミュニケーション能力検定550以上		15点					(1次)200点 (2次)500点	
7	【中高英語、中高国語】中国語検定3級／HSK4級／中国語コミュニケーション能力検定450以上		10点					(1次)200点 (2次)500点	
資格要件の確認方法		級、スコアのわかる証明書の写し							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)							0
		平成28年度採用者数(名)							0
		平成29年度受験者数(名)	65(11)	82(15)	4	10	6	2	143
		平成29年度採用者数(名)	30	34	1	0	2	0	67
		平成30年度受験者数(名)	77(12)	80(16)	4(2)	12(3)	3	0	143

※中高一括教科は「中」に含む。()内の数字は第2希望の内数。

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(山梨県)

対象となる校種・教科		小・中・高・特支(資格要件により異なる)		新規・継続				1、3、6、9継続、他新規
No.	資格要件			加点内容				加点対象科目の満点
1	海外2年以上の教育ボランティア経験者			小学校一次得点に5点加点				総得点240点
2	中学校教諭普通免許状を有する者(取得見込)			小学校一次得点に5点加点				総得点240点
3	英語に関する資格等を有する者(取得済みであること)			小学校一次得点に5点加点				総得点240点
4	複数教科の中学校教諭普通免許状を有する者(取得見込)			中学校一次得点に5点加点				音美300、他200
5	小学校教諭普通免許状を有する者(取得見込)			中学校一次得点に5点加点				音美300、他200
6	英語に関する資格等を有する者(取得済みであること)			中学校一次得点に5点加点				音美300、他200
7	複数教科の高等学校教諭普通免許状を有する者(取得見込)			高校一次得点に5点加点				音体250、他150
8	受検する科目に関する専門分野の資格を有する者			高校一次得点に5点加点				音体250、他150
9	英語に関する資格等を有する者(取得済みであること)			高校一次得点に5点加点				音体250、他150
10	複数の障害種の特別支援学校教諭普通免許状を有する者(取得見込)			特支一次得点に5点加点				小300、音美体250、他200
11	小学校教諭普通免許状及び中学校教諭普通免許状を有する者(取得見込)又は、小学校教諭普通免許状及び高等学校教諭普通免許状を有する者(取得見込)			特支一次得点に5点加点				小300、音美体250、他200
12	司書教諭の資格を有する者(現に資格取得又は現在申請中の者)			全校種一次の得点5点加点				
資格要件の確認方法		それぞれに必要な書類を出願時に提出する。						
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)	21						21
	平成29年度受験者数(名)	7						7
	平成29年度採用者数(名)	29						29
	平成30年度受験者数(名)	186	82	50	18			336

今年度より、加点制度の拡大、対象者の見直しを行ったため、昨年度以前とは対象が異なる。

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(静岡県)

対象となる校種・教科		資格要件により異なる	新規・継続		本年度新規					
No.	資格要件		加点内容		加点対象科目の満点					
1	特別支援学校教諭普通免許状取得(取得見込み) (対象校種:小学校、中学校)		5		100点					
2	中学校普通免許状(英語)取得(取得見込み)又は、英語に関する資格等の所有 (対象校種:小学校)		5							
3	英語に関する資格等の所有 (対象校種:小学校、中学校、高等学校)		3							
4	ポルトガル語又は、スペイン語に関する資格の所有 (対象校種:小学校、中学校、養護教諭)		5							
5	司書教諭の資格取得 (対象校種:小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)		3							
6	複数教科の中学校教諭普通免許状取得(取得見込み) (対象校種:中学校、特別支援学校)		5							
7	複数教科の高等学校教諭普通免許状取得(取得見込み)又は、特別支援学校教諭普通免許状取得(取得見込み) (対象校種:高等学校)		5							
8	複数の障害種の特別支援学校教諭普通免許状取得(取得見込み) (対象校種:特別支援学校)		5							
9	「特別支援学校教諭普通免許状」「小学校教諭普通免許状」「中学校教諭普通免許状」の3つの免許状を取得(取得見込み) (対象校種:特別支援学校)		5							
資格要件の確認方法		当該免許状の写し(当該免許状を取得見込みの者は、取得見込証明書)、資格を証明する書類(主催団体が発行する公式認定書または合格証明書)の写しを提出。								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
			平成28年度受験者数(名)							0
			平成28年度採用者数(名)							0
			平成29年度受験者数(名)							346
			平成29年度採用者数(名)							95
平成30年度受験者数(名)							456			

(三重県)

対象となる校種・教科		「資格要件」欄のとおり	新規・継続					継続	
No.	資格要件		加点内容					加点对象科目の満点	
1	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭の受験者 で要項に示した組み合わせの複数の教育職員免許状		5点～15点					小学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭は250点、中学校教諭・高等学校教諭は300点	
2	すべての校種等の受験者で教育現場に必要なポルトガル語またはスペイン語を理解し、特に口頭で表現できる能力		0点～15点						
3	すべての校種等の受験者で英語に係る資格		2点～8点						
4	すべての校種等の受験者で臨床心理士の資格		8点						
5	「商業」の受験者で商業に係る資格		3点						
6	スポーツ競技者特別選考以外の受験者でスポーツで特に優れた実績 (要項に示した競技及び実績に限る)		4点～15点						
7	小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭の受験者 で司書教諭講習修了証書		5点						
8	「福祉」、「養護教諭」の受験者で看護師免許		8点～10点						
9	すべての校種等の受験者で言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の資格		8点～15点						
資格要件の確認方法		<ul style="list-style-type: none"> ・申請時に資格を証明する書類の写しを提出(1、3、4、5、6、7、8、9) ・指定した日に面接試験を実施し確認(2) ・取得見込証明書の提出(7) 							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)							1,048
		平成28年度採用者数(名)							274
		平成29年度受験者数(名)							1,107
		平成29年度採用者数(名)							272
		平成30年度受験者数(名)						1,058	

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(滋賀県)

対象となる校種・教科		小・中・高		新規・継続		本年度新規			
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点			
1	小学校教員に出願する者で、中学校外国語(英語)普通免許状または高等学校外国語(英語)普通免許状を有する者または平成30年3月31日までに取得見込みの者。ただし、平成30年3月31日までに取得できなかった場合、加点は無効となり、採用を取り消す場合がある。【継続】			第一次選考試験の「専門教科・科目」の得点に10点加点。		100点			
2	小学校教員または中学校教員に出願する者で、特別支援学校教諭普通免許状を有する者または平成30年3月31日までに取得見込みの者。ただし、平成30年3月31日までに取得できなかった場合、加点は無効となり、採用を取り消す場合がある。【継続】			第一次選考試験の「専門教科・科目」の得点に5点加点。		100点			
3	中学校英語または高等学校英語に出願する者で、実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)準1級または1級合格者、TOEFL(国際教育交換協議会)80点(iBT)または550点(PBT)以上の取得者(平成27年7月以降の取得者に限る。)およびTOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(公認認定証)」)785点以上の取得者(平成27年7月以降の取得者に限る。)。【本年度新規】			第一次選考試験の「専門教科・科目」の得点に10点加点。		100点			
資格要件の確認方法		1、2については該当する教員免許状の写しを提出。							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)							0
		平成28年度採用者数(名)							0
		平成29年度受験者数(名)							0
		平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	106	19	30				155	

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(大阪府)

対象となる校種・教科		今年度募集するすべての校種・教科(科目)				新規・継続		本年度新規	
No.	資格要件				加点内容		加点対象科目の満点		
1	社会人経験者(教諭普通免許状を所有する者)(通算5年以上)				第1次選考に10点 (教員チャレンジテストの場合、第2次選考) 同上 (通算5年以上の場合 はさらに10点加点) 第1次選考に10点 (教員チャレンジテストの場合、第2次選考) 第1次選考に10点 (教員チャレンジテストの場合、第2次選考) (上記1～9と併用可)		150点		
2	社会人経験者(特別免許状取得を前提とする者)(通算5年以上) 【対象:工業実習(高等学校)】								
3	教職経験者(常勤講師経験者・実習助手・寄宿舎指導員)(通算1年以上)								
4	英語資格所有者 【対象:小、小中いきいき、特支(幼小・小)、中・高・特支(中・高)の「英語」】								
5	理科教育経験者 【対象:小、小中いきいき、特支(幼小・小)、中・高・特支(中・高)の「理科」】								
6	司書教諭資格所有者【対象:養教、栄教を除く全校種・教科(科目)】								
7	看護師免許所有者【対象:養教】								
8	柔道整復師免許所有者【対象:特支(自立活動・理療)】								
9	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士免許所有者 【対象:特支(幼小・小・中・高・自立活動・理療)】								
10	特別支援学校教諭免許状所有者(見込み含む) 【対象:特支(中・高)】								
資格要件の確認方法		免許状の写し又は資格取得を証明する書類							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)							0
		平成28年度採用者数(名)							0
		平成29年度受験者数(名)	531	737	836	70	190	25	2,389
		平成29年度採用者数(名)	93	127	164	18	17	3	422
平成30年度受験者数(名)	673	821	650	413	190	25	2,772		

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(兵庫県)

対象となる校種・教科		全校種・教科(ただし、2は小学校および中・高「英語」、5は高校「福祉」、7は中・高「家庭」)		新規・継続	本年度新規				
No.	資格要件			加点内容	加対象科目の満点				
1	一芸、一能に秀でた者(体育・芸術分野において一定基準の経験を有する者)			20点	430点				
2	英語資格所有者(出願時点で英検・TOEICなど一定水準以上の資格保有者)			20点					
3	視能訓練士、手話通訳士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の資格所有者			20点					
4	臨床心理士の資格所有者								
5	介護福祉士または看護師の資格を有し、5年以上の実務経験を有する者			10点					
6	司書教諭資格所有者(司書教諭資格講習修了者も含む)								
7	栄養士、管理栄養士、調理師の資格所有者			20点					
8	青年海外協力隊における2年以上の国際貢献活動経験者								
資格要件の確認方法		出願時に資格等を証明できる書類(写)を提出							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
		平成28年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
		平成29年度受験者数(名)	135	62	109	15	3	0	324
		平成29年度採用者数(名)	28	16	28	2	1	0	75
		平成30年度受験者数(名)	151	72	107	19	1	0	350

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(奈良県)

対象となる校種・教科		全校種等、教科等	新規・継続		継続				
No.	資格要件		加点内容		加点対象科目の満点				
1	小学校、小学校英語教育推進特別選考受験者で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有		6点又は10点		390点				
2	中学校受験者で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有又は「音楽」「美術」「技術」「家庭」を含む中学校教諭普通免許状を複数所有		6点						
3	中学校受験者で、司書教諭資格を所有		6点						
4	高等学校受験者で、受験する高等学校教諭普通免許状と「情報」の高等学校教諭免許状を共に所有		6点						
5	高等学校地理歴史受験者で、「地理歴史」と「公民」の高等学校教諭免許状を共に所有		6点						
6	小学校、小学校英語教育推進特別選考、中学校又は高等学校英語受験者で、実用英語技能検定(日本英語検定協会)準1級以上合格、TOEFL(国際教育交換協議会)PBT550点以上若しくは同CBT213点以上、同iBT80点以上、TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上のうち、いずれか取得		6点又は10点						
7	全校種等、教科等受験者で、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士のいずれかの資格を所有		6点						
資格要件の確認方法		第1次試験時の教員免許証コピー、資格証明書コピーの提出							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	315	99	26	14	3	1	458
		平成28年度採用者数(名)	78	22	3	3	1	0	107
		平成29年度受験者数(名)	261	123	31	1	2	0	418
		平成29年度採用者数(名)	68	30	4	0	0	0	102
		平成30年度受験者数(名)	206	59	65	0	1	0	331

＜特定の資格や経歴等による加点制度＞

(鳥取県)

対象となる校種・教科		A小学校、B中学校、C特別支援学校、D高等学校					新規・継続		継続	
No.	資格要件					加点内容		加点対象科目の満点		
1	英語に関する資格の所有者として志願する者（対象：A、B、C、D） ※次の基準を満たすいずれかの資格の所有者 ・中学校教諭及び高等学校教諭（英語） 実用英語技能検定（準1級以上）、TOEFL(iBT80点以上又はPBT550点以上）、TOEIC(730点以上) ・小学校教諭及び特別支援学校教諭 実用英語技能検定（準1級以上）、TOEFL(iBT80点以上又はPBT550点以上）、TOEIC(730点以上) 実用英語技能検定(2級以上)、TOEFL(iBT42点以上又はPBT440点以上）、TOEIC(550点以上)					第一次選考試験の専門試験に20点加点		中学校教諭、高等学校教諭 200点		
						第一次選考試験の専門試験に20点加点		小学校、特別支援学校教諭 250点		
						第一次選考試験の専門試験に10点加点				
2	複数免許状所有者として志願する者(対象：A、B) ※次の基準を満たすいずれかの資格の所有者 ・小学校教諭：中学校教諭普通免許状所有者で、免許状の種類(専修免許状、一種免許状、二種免許状)及び教科は問わない。特別免許状及び臨時免許状は除く。 ・中学校教諭：小学校教諭普通免許状所有者で、免許状の種類(専修免許状、一種免許状、二種免許状)は問わない。特別免許状及び臨時免許状は除く。					第一次選考試験の専門試験に10点加点		小学校、特別支援学校教諭 250点 中学校教諭 200点		
資格要件の確認方法		1 英語の資格を証明できる書類の写し 2 要件を満たすことを示す免許状授与証明書又は免許状の写し ※加点は、1、2のいずれか一方のみ								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
		平成28年度受験者数(名)							0	
		平成28年度採用者数(名)							0	
		平成29年度受験者数(名)	67	25		3			95	
		平成29年度採用者数(名)	24	3		0			27	
平成30年度受験者数(名)	55	31		5			91			

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(広島県・広島市)

対象となる校種・教科		小学校, 中学校・高等学校(外国語 英語)		新規・継続		継続			
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点			
1	小学校教諭【TOEFL(iBT)80以上, TOEIC730以上, IELTS6.5以上, 英検準1級】			第1次選考試験の筆記試験の得点に20点加点		300点			
2	小学校教諭【TOEFL(iBT)65以上, TOEIC600以上, IELTS5.5以上】			第1次選考試験の筆記試験の得点に10点加点					
3	小学校教諭【TOEFL(iBT)55以上, TOEIC550以上, IELTS5.0以上, 英検2級】			第1次選考試験の筆記試験の得点に5点加点					
4	中学校・高等学校教諭外国語(英語) (【TOEFL(iBT)100以上, TOEIC860以上, IELTS7.0以上, 英検1級】)			第1次選考試験の筆記試験の得点に20点加点					
5	中学校・高等学校教諭外国語(英語) (【TOEFL(iBT)80以上, TOEIC730以上, IELTS6.5以上, 英検準1級】)			第1次選考試験の筆記試験の得点に5点加点					
資格要件の確認方法		英語の資格を証明できる書類を提出							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	12	23	38				73
		平成28年度採用者数(名)	3	6	4				13
		平成29年度受験者数(名)	11	18	30				59
		平成29年度採用者数(名)	1	4	3				8
		平成30年度受験者数(名)	54	21	37				112

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(徳島県)

対象となる校種・教科		小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校				新規・継続		継続	
No.	資格要件	加点内容				加点対象科目の満点			
1	中学校教諭「音楽」「美術」「保健体育」「技術」「家庭」を志願する者で、出願教科以外の中学校教諭免許状を有する者には、第1次審査の総合点に加点する。	2教科以上30点 1教科 15点							
2	高等学校教諭を志願する者で、高等学校教諭「情報」の免許状を有する者には、第1次審査の総合点に加点する。	15点							
3	高等学校教諭「地理歴史」又は「公民」を志願する者で、高等学校教諭「地理歴史」と「公民」の両方の免許状を有する者には、第1次審査の総合点に加点する。	15点							
4	小学校教諭, 中学校教諭, 高等学校教諭, 特別支援学校教諭を志願する者で、司書教諭の資格を有する者には、第1次審査の総合点に加点する。	10点				550点			
5	小学校教諭及び中学校教諭「英語」を志願する者で、英検準1級相当以上の資格を有する者には資格の程度に応じて、第1次審査の総合点に加点する。	英検1級相当 30点 英検準1級相当15点							
6	高等学校教諭「英語」を志願する者で、英検1級相当の資格を有する者には第1次審査の総合点に加点する。	15点							
7	高等学校教諭「家庭」を志願する者で、高等学校教諭「福祉」の免許状、「調理師免許証」「管理栄養士免許証」「介護福祉士登録証」を有する者には、免許等の所有数に応じて第1次審査の総合点に加点する。	2つ以上60点 1つ30点							
資格要件の確認方法		提出する資格証明書の写しと原本を確認							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)			30				30
		平成28年度採用者数(名)			7				7
		平成29年度受験者数(名)	1	16	26	0	0	0	43
		平成29年度採用者数(名)	1	10	7	0	0	0	18
平成30年度受験者数(名)	26	29	44	6	0	0	105		

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(愛媛県)

対象となる校種・教科		小(資格要件4、15～19以外)、中(10～14、16～19以外)、高(10～15、19以外)、特支(1～4、10～19以外)、養教(8、19～22)、栄教(8、20～22)							新規・継続	継続
No.	資格要件	加点内容							加点対象科目の満点	
1	スポーツの分野で選手として国際大会に出場	50点							・800点 (加点対象:第一次選考試験の合計点)	
2	スポーツの分野で選手として全国規模の大会で8位以内に入賞	50点								
3	スポーツの分野で選手として全国規模の大会に出場	30点								
4	スポーツの分野(指導者として全国規模の大会に出場)	50点								
5	芸術・文化の分野(全国規模以上のコンクール・展覧会等で特に優秀な成績)	30点								
6	高い英語力(英語検定1級合格者、TOEFL PBT600点以上、TOEIC 860点以上)	30点								
7	高い英語力(英語検定準1級合格者、TOEFL PBT550点～599点、TOEIC 730点～859点)	20点								
8	正しい日本語力(日本語検定1級合格者)	30点								
9	司書教諭の有資格者	10点								
10	特別支援学校教諭免許状取得者	20点								
11	中学校理科教諭又は高等学校理科教諭免許状取得者	20点								
12	中学校音楽教諭又は高等学校音楽教諭免許状取得者	20点								
13	中学校外国語教諭又は高等学校外国語教諭免許状取得者	20点								
14	中学校数学教諭又は中学校技術教諭免許状取得者	20点								
15	受験教科以外の教科の中学校教諭免許状又は小学校教諭免許状取得者	20点								
16	理科の中学校教諭免許状取得者	20点								
17	情報の高等学校教諭免許状取得者	20点								
18	福祉の高等学校教諭免許状取得者	20点								
19	保健師免許証取得者	20点								
20	青年海外協力隊派遣(2年間程度)	50点								
21	臨床心理士の有資格者	50点								
22	防災士の有資格者	10点								
資格要件の確認方法		出願時に証明する書類の写しを提出させるとともに、試験当時に現物を確認する。								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計		
		平成28年度受験者数(名)	182	65	107	5	15		374	
		平成28年度採用者数(名)	70	19	19	1	5		114	
		平成29年度受験者数(名)	154	78	126	12	7	1	378	
		平成29年度採用者数(名)	75	30	21	7	5	1	139	
		平成30年度受験者数(名)	175	89	139	7	17	3	430	

※加点の上限は50点。

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(高知県)

対象となる校種・教科		全校種・全教科(校種、教科指定あり)		新規・継続		継続				
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点				
1	司書の資格又は司書教諭の資格			5点加点		第1次(510点)第2次(860点~910点)				
2	臨床心理士の資格			30点加点						
3	特別支援学校受審者で、手話通訳士の資格			15点加点						
4	小学校教諭受審者で、中学校教諭の普通免許状			10点加点						
5	中学校教諭受審者で、中学校の他教科普通免許状又は小学校教諭の普通免許状			10点加点						
6	特別支援学校教諭、盲学校教諭、聾学校教諭又は養護学校教諭の普通免許状			10点加点						
7	英語に関する資格(英検、TOEFL PBT、TOEIC)			10~20点加点						
8	スポーツの実績(オリンピック、世界選手権、アジア大会、国民体育大会で入賞等)			10~30点加点						
9	中学校保健体育教諭受審者で、剣道、柔道、相撲の3段以上の段位取得者			5点加点						
10	小学校教諭、中学校教諭、中高連携枠の理科受審者で、理数系教員(CST)養成拠点構築プログラム修了者			20点加点						
11	IB(国際バカロレア)教員資格認定者(IB ACTL、IB CTL)			10~15点加点						
資格要件の確認方法		資格証明書などの複写の提出								
実施状況				小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)		55	39	45	24	0	0	163
		平成28年度採用者数(名)		33	12	6	7	0	0	58
		平成29年度受験者数(名)		67	48	51	34	1	0	201
		平成29年度採用者数(名)		29	8	5	17	0	0	59
		平成30年度受験者数(名)		84	42	62	31	0	0	219

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(佐賀県)

対象となる校種・教科		下記の資格要件に表記	新規・継続		継続				
No.	資格要件		加点内容		加点対象科目の満点				
1	受験する区分・教科の専修免許状を有する者		加点は、③⑮⑰⑱は各5点、⑩⑬は各15点、それ以外は各10点とする。②と③の項目に重複して該当する者は②で申請する。		第一次試験の各試験区分の選考に際して、①～⑳までで20点、㉑～㉓で20点、計40点を上限に加点を行う。				
2	小学校教諭等の受験者で、中学校教諭又は高等学校教諭の「数学」「理科」又は「英語」の免許状を有する者		なお、②③④⑤⑥は、第二次試験の選考に際し、さらに各10点の加点を行う。						
3	小学校教諭等、中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(小学部・中学部)の受験者で、小学校教諭免許状と中学校教諭免許状をともに有する者		⑬～⑮、㉑～㉓の申請については、いずれか1つとする。						
4	小学校教諭等、中学校教諭等及び高等学校教諭等の受験者で、盲学校教諭、聾学校教諭、養護学校教諭又は特別支援学校教諭の免許状を有する者								
5	中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(中学部)の受験者で、中学校教諭の複数教科の免許状を有する者								
6	高等学校教諭等の受験者で、「情報」の免許状を有する者								
7	高等学校教諭等の受験者で、「福祉」又は「看護」の免許状を有する者								
8	高等学校教諭等の「地理歴史」の受験者で、「公民」の免許状を有する者								
9	高等学校教諭等の「家庭」の受験者で、「調理師」「栄養士」又は「管理栄養士」の免許を有する者								
10	養護教諭等の受験者で、「看護師」及び「保健師」の両方の免許を有する者								
11	養護教諭等の受験者で、「看護師」又は「保健師」のいずれかの免許を有する者								
12	中学校教諭等の「保健体育」の受験者で、柔道、剣道、相撲又はなぎなたの3段以上を有する者								
13	非常に高い英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 1級合格 ・TOEIC 860点以上 ・TOEFL iBT 100点以上、CBT 250点以上又はPBT 600点以上								
14	高い英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 準1級合格 ・TOEIC 730点以上 ・TOEFL iBT 79点以上、CBT 213点以上又はPBT 550点以上								
15	英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 2級合格 ・TOEIC 500点以上 ・TOEFL iBT 52点以上、CBT 150点以上又はPBT 470点以上								
16	臨床心理士の資格を有する者								
17	学校図書館司書教諭の資格を有する者								
18	日本語教育能力検定試験に合格した者								
19	3か月以上の海外留学経験を有する者(ただし、教育委員会が適当と認めるものに限る。)								
20	青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして2年以上の経験を有する者								
21	国際規模の競技会で日本代表として出場した者又は直接の指導者								
22	全国規模の競技会で4位以上の成績を収めた者又は直接の指導者								
23	全国規模の競技会で8位以上の成績を収めた者又は直接の指導者								
資格要件の確認方法		申込時に下記の書類の提出を求め、事務局で確認する。 ・1～ 8…免許状の写し又は免許状取得見込証明書 ・9～16…実施団体又は資格認定協会が発行する証明書等の写し ・17…修了証書の写し ・18…合格証明書の写し ・19、20…在籍や派遣活動を証明する書類の写し ・21～23…実績を証明する書類							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	194	142	154	11	26	0	527
		平成28年度採用者数(名)	85	45	23	9	7	0	169
		平成29年度受験者数(名)	164	130	161	12	23	0	490
		平成29年度採用者数(名)	78	34	32	8	5	0	157
		平成30年度受験者数(名)	159	126	168	10	26	1	490

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(長崎県)

対象となる校種・教科		該当の校種・教科	新規・継続					継続	
No.	資格要件		加点内容					加点対象科目の満点	
1	「司書教諭」の資格を有する者		第1次試験に5点を加点					300,330,350,400	
2	教職大学院を修了した者又は在学している者		第1次試験に5点を加点					300,330,350,400	
3	英検準1級以上、TOEFL(PBT)550点以上、CBT213点以上、iBT80点以上又はTOEIC730点以上のいずれかを有する者 ※ 小学校受験者については受験期日は問わない。 ※ 中・高英語(特支B含む)受験者については、平成27年4月1日以降に受験した試験を対象とする。		第1次試験に5点を加点					300,330,350,400	
4	特別支援学校教諭普通免許状を有する者		第1次試験に5点を加点					300,330,350,400	
5	複数教科の中学校教諭普通免許状を有する者		第1次試験に5点を加点					300,330,350,400	
6	高等学校教諭普通免許状「情報」を有する者		第1次試験に5点を加点					300,330,350,400	
7	高等学校志願者で高等学校教諭普通免許状「福祉」を有する者		第1次試験に5点を加点					300,330,350,400	
8	小学部志願者で中学校教諭、高等学校教諭普通免許状を有する者		第1次試験に5点を加点					300	
9	中学部・高等部志願者で、小学校教諭普通免許状を有する者		第1次試験に5点を加点					300	
10	視覚障害又は聴覚障害に関する教育の領域を定めた特別支援学校普通免許状を有する者		第1次試験に5点を加点					300	
11	「看護師」の免許状を有する者		第1次試験に5点を加点					300	
資格要件の確認方法		第1次選考試験当日に「加点申請書」及び「各要件を証明する書類の原本」を確認。							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)							0
		平成28年度採用者数(名)							0
		平成29年度受験者数(名)	84	58	47	25	28		242
		平成29年度採用者数(名)	41	11	8	11	8		79
	平成30年度受験者数(名)	57	69	32	21	35		214	

(熊本県)

対象となる校種・教科		小学校教諭等及び小・中学校教諭等英語A区分	新規・継続					本年度新規	
No.	資格要件		加点内容					加点対象科目の満点	
1	・実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)2級以上合格者。		3点					140点	
2	・TOEFL(国際教育交換協議会)PBT470点以上又はiBT52点以上取得者。								
3	・TOEIC(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)550点以上取得者。								
資格要件の確認方法		出願時に、要件を満たすことを証明する書類の写しを提出。また、第一次考査当日に、要件を満たすことを証明する書類の原本を持参。							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)							0
		平成28年度採用者数(名)							0
		平成29年度受験者数(名)							0
		平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	26						26	

※小学校教諭等21名。小・中学校教諭等英語A区分5名。

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(鹿児島県)

対象となる校種・教科		小学校・中学校・高等学校の全教科, 養護教諭, 栄養教諭		新規・継続	継続				
No.	資格要件			加点内容	加点対象科目の満点				
1	中学校教員の複数教科の普通免許状を保有している者			4点	500点				
2	小学校普通免許状と中学校教員普通免許状をともに保有している者			3点					
3	小学校教員, 中学校教員, 高等学校教員のいずれかの普通免許状を保有している者で, かつ特別支援学校の普通免許状を保有している者(特別支援学校受験者を除く)			3点					
4	中学校・高等学校・特別支援学校「外国語(英語)」の受験者で, 実用英語技能検定1級又は準1級, TOEFL550点(PBT)・79点(IBT)以上, TOEIC730点以上の者			5点					
5	高等学校の受験者で, 「情報」の普通免許状を保有している者			2点					
6	栄養教諭又は高等学校「家庭」の受験者で, 管理栄養士又は調理師の免許状を保有している者			2点					
7	養護教諭又は高等学校「看護」の受験者で, 看護師又は保健師の免許証を保有している者			2点					
8	司書教諭の資格を保有している者			2点					
9	独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアに隊員として2年以上の派遣実績を持つ者			4点					
資格要件の確認方法		出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	446	168	147	43	26	9	839
		平成28年度採用者数(名)	58	31	13	5	8	1	116
		平成29年度受験者数(名)	560	185	168	38	17	12	980
		平成29年度採用者数(名)	72	17	14	8	5	2	118
		平成30年度受験者数(名)	469	189	150	33	15	19	875

(沖縄県)

対象となる校種・教科		1,2:全校種・教科、3,4:下記の資格要件に表記		新規・継続		継続			
No.	資格要件		加点内容		加点対象科目の満点				
1	出願の時点で有効な、1以上の領域における特別支援学校教諭普通免許状(盲・聾・養護学校普通免許状を含む。)		1次試験の専門試験点数に10点加点		非公表				
2	青年海外協力隊その他のボランティア(独立行政法人国際協力機構が派遣するものに限る)として、海外に2年以上派遣された経験を有している者		1次試験の専門試験点数に20点加点						
3	次のアからイの両方を満たしていること。 ア 高等学校教諭等「水産」を受験する者で、三級海技士(航海)若しくは三級海技士(機関)の資格又はこれらより上級の資格の海技士の資格を有していること。海技士(内燃機関)を含む。 イ アの資格を取得してから1年以上の乗船経験を有すること。		1次試験の専門点数に10点加点						
4	次のア又はイのいずれかを満たしていること。 ア 小学校教諭等又は特別支援学校小学部教諭等を受験する者で、次のいずれかの資格を有する者 (ア)英語に係る中学校又は高等学校教諭普通免許 (イ)実用英語技能検定準一級以上、TOEFL iBT® 80点以上又はTOEIC® Listening&Reading Test 730点以上のいずれか イ 中学校教諭等「英語」又は高等学校教諭等「英語」を受験する者で、次のいずれかの資格(出願の2年前の4月1日以降に受験し、取得したものに限る)を有する者 (ア)実用英語技能検定一級、TOEFL iBT® 100点以上又はTOEIC® Listening&Reading Test 945点以上のいずれか (イ)実用英語技能検定準一級、TOEFL iBT® 80点以上又はTOEIC® Listening&Reading Test730点以上のいずれか		第一次試験の専門試験の得点に、加点を受ける資格のAに該当する者には10点を、イ(ア)に該当するものには20点を、イ(イ)に該当する者には5点を加点する。						
資格要件の確認方法		No.1一般選考の出願書類に加えて、対象となる免許状の写し No.2一般選考の出願書類に加えて、独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長が発行した派遣証明書 No.3一般選考の出願書類に加えて、海技免状の写し、乗船経験証明する書類(船員手帳の写し等) No.4一般選考の出願書類に加えて、対象となる資格を証明する書類							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	50	40	49	100	0	0	239
		平成28年度採用者数(名)	17	10	6	22	0	0	55
		平成29年度受験者数(名)	69	72	55	126	0	0	322
		平成29年度採用者数(名)	24	17	2	11	0	0	54
		平成30年度受験者数(名)	104	102	92	123	0	0	421

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(仙台市)

対象となる校種・教科	小学校(英語), 全校種・教科(特支)		新規・継続		本年度新規			
No.	資格要件		加点内容		加点対象科目の満点			
1	小学校受験者で中・高英語教員免許を有するもの(取得見込を含む)		10		330			
2	小学校受験者で英語資格等を有するもの		10		330			
3	全校種・教科において特支教員免許を有するもの(取得見込を含む)		10		300 ~ 400			
資格要件の確認方法	教員免許状の写し, 取得見込証明書 当該資格, 得点の証明書の写し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	118	26	0		0	0	144

※加点はいずれか一つとし, 複数の申請を行うことはできない。

(横浜市)

対象となる校種・教科	小学校(一般選考区分)		新規・継続		本年度新規			
No.	資格要件		加点内容		加点対象科目の満点			
1	平成30年4月1日時点で有効な中学校教諭普通免許状(英語)又は、高等学校教諭普通免許状(英語)を有する方又は平成30年3月31日までに取得見込みの方		一次試験に15点加点		200			
資格要件の確認方法	免許状授与証明書または免許状取得見込証明書で確認							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)	95						95

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(新潟市)

対象となる校種・教科	下記の資格要件に表記	新規・継続	継続					
No.	資格要件	加点内容	加点対象科目の満点					
1	小受験者で、中「英語」または高「英語」の普通免許状を取得している。	10点	360点					
2	小受験者で、幼稚園の普通免許状を取得している。	10点	360点					
3	小、中・高共通、特別支援受検者で、小、中両方の普通免許を取得している。	10点	360点					
4	小、中・高共通受検者で、特別支援学校の普通免許を取得している。	10点	360点					
5	中・高共通「音楽」「技術」「家庭」の受検者で、他教科の免許状を取得している。	10点	360点					
6	中・高「英語」の受検者で英検準1級以上もしくはそれと同等の資格を有している。英検準1級と同等な資格とは、toiec730点以上、toeflのPBT550点以上、もしくはCBT213点以上、iBT80点以上。	10点	360点					
7	小受験者で、英検2級以上もしくはそれと同等の資格を有している。英検2級と同等な資格とは、toiec540点以上、toeflのPBT480点以上、もしくはCBT173点以上、iBT61点以上。	5点	360点					
8	司書教諭の資格を有している。	5点	360点					
		(加点上限は20点)						
資格要件の確認方法		1次検査当日に免許状等の原本確認を行う。						
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)	24	3					27
	平成29年度受験者数(名)	101	30		15			146
	平成29年度採用者数(名)	32	3	3	1			39
	平成30年度受験者数(名)	104	32		5			141

※中・高共通出願者は「中」に記載。

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(静岡市)

対象となる校種・教科		小学校・中学校		新規・継続		新規:4、継続:1,2,3				
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点				
1	小学校の受験者で英語資格又は中学校(高等学校)教諭普通免許状(英語)のいずれかを有する(取得見込みも含む)			1次試験の筆記試験の合計得点に8点加点		150点				
2	特別支援学校教諭普通免許状を有する(取得見込みも含む)			1次試験の筆記試験の合計得点に5点加点						
3	小学校教諭と中学校教諭の両方の普通免許状を有する。(取得見込みも含む)			1次試験の筆記試験の合計得点に5点加点						
4	司書教諭資格を有する(取得見込みは含まない)			1次試験の筆記試験の合計得点に3点加点						
資格要件の確認方法		英語資格については、実施団体または資格認定協会が発行する証明書等の写しを提出								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
		平成28年度受験者数(名)	7	2						9
		平成28年度採用者数(名)	1	0						1
		平成29年度受験者数(名)	65	24						89
		平成29年度採用者数(名)	32	4						36
		平成30年度受験者数(名)	130	53					183	

(浜松市)

対象となる校種・教科		全校種・全教科		新規・継続		継続				
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点				
1	小学校教諭と中学校教諭の普通免許状の両方を取得又は取得見込み			5点加点		第1次試験199点				
2	小学校教員受験者で中学校教諭の普通免許(英語)を取得又は取得見込み①の加点にプラスして)			5点加点		第1次試験199点				
3	中学校複数教科普通免許状を取得又は取得見込み			10点加点		第1次試験199点				
4	司書教諭の資格を取得			3点加点		第1次試験199点				
5	特別支援学校教諭普通免許状取得又は取得見込み			10点加点		第1次試験199点				
6	保健師または看護師免許取得			8点加点		第1次試験199点				
7	臨床心理士の資格取得			15点加点		第1次試験199点				
8	英語資格(以下のいずれかを所有) ・実用英語技能検定準1級以上・TOEFLiBT80点以上・TOEIC730点以上 ※ただしTOEFL・TOEICは平成27年7月以降の得点に限る			5点加点		第1次試験199点				
		(加点上限は15点)								
資格要件の確認方法		免許および資格の写しを提出								
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
		平成28年度受験者数(名)	236	65			6			307
		平成28年度採用者数(名)	54	8			0			62
		平成29年度受験者数(名)	196	71			6			273
		平成29年度採用者数(名)	55	25			2			82
		平成30年度受験者数(名)	188	71			6		265	

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(名古屋市)

対象となる校種・教科		新規・継続	本年度新規						
No.	資格要件	加点内容	加点対象科目の満点						
1	1小学校 2、3小学校、中学校、特別支援学校、養護教員 4小学校、中学校志願者で特別支援学級担当の希望がある者 ○英会話能力に優れ、英語免許を所有(または平成30年3月31日までに取得見込み)、若しくは以下のいずれかに該当する人 ・実用英語技能検定(日本英語検定協会)準1級合格者 ・TOEFL(国際教育交換協議会)PBT550点以上、またはCBT213点以上、またはiBT80点以上 ・TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上	小学校全科の成績に加点	100						
2	○なごや教職インターンシップの活動が、平成27年度から平成28年度の間に、1年間に30回以上、または2年間に50回以上ある人	総合教養、小論文の成績に加点	総合教養100 小論文36						
3	○名古屋市において、平成24年から平成29年度(平成29年5月31日まで)に下の活動(任用)期間が通算2年以上ある人 ・トワイライトスクール(放課後子どもプランモデル事業を含む)・トワイライトルームにおいて「運営指導者」「子ども指導員」「地域協力員(AP)」「体験活動講師」「学生ボランティア」の活動をしている人 ・ふれあいフレンド、部活動外部指導者(部活動外部顧問を含む)、理科支援員、名古屋市児童福祉センター「あそびっこ」、母語学習協力員、名古屋市民おんたけ休暇村キャンプカウンセラー、フレンドリーユース、学習支援事業学習サポーター、児童養護施設学習支援ボランティア、土曜学習いきいきサポーター	総合教養の成績に加点	総合教養100						
4	○特別支援教育に関わる以下のいずれかの免許状を有する人 ・特別支援学校教諭免許の「視覚障害者」「聴覚障害者」「知的障害者」「肢体不自由者」「病弱者」のうち、1領域以上が記された普通免許状 ・盲学校教諭免許状 ・聾学校教諭免許状 ・養護学校教諭免許状	総合教養の成績に加点	総合教養100						
資格要件の確認方法									
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成28年度受験者数(名)							0	
	平成28年度採用者数(名)							0	
	平成29年度受験者数(名)							0	
	平成29年度採用者数(名)							0	
	平成30年度受験者数(名)	412	138		2	29		581	

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(京都市)

対象となる校種・教科		小学校(英語教育推進コース)		新規・継続		継続			
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点			
1	小学校の普通免許状を有するか、平成30年4月1日までに取得見込みであることとともに以下のいずれかの条件を満たすこと ①中学校英語または高等学校英語の普通免許状を有するか、平成30年4月1日までに取得見込みであること。 ②実用英語技能検定2級以上の資格を所有していること。 ③TOEFL 500点以上(iBTの場合は42点以上)の資格を所有していること。 ④ TOEIC 550点以上(SWを含む場合は790点以上)の資格を所有していること。			第1次試験の個人面接について最大15点の加点		85点満点 (通常70点満点)			
資格要件の確認方法		免許状:採用前に提出 各資格:出願時に各実施団体が発行する証明書の写しを提出							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	28						28
		平成28年度採用者数(名)	2						2
		平成29年度受験者数(名)	31						31
		平成29年度採用者数(名)	8						8
	平成30年度受験者数(名)	44						44	

※30年度採用試験から、免除の資格要件を緩和。

＜特定の資格や経歴等による加点制度＞

(大阪市)

対象となる校種・教科		小学校(No.1～13、22)、中学校「英語」及び高等学校「英語」(No.14～21、23)		新規・継続		継続			
No.	資格要件			加点内容		加点対象科目の満点			
1	中学校教諭又は高等学校教諭の英語の普通免許状の所有			1次90点／2次30点		1次900点/2次870点			
2	英検1級合格			1次90点／2次30点		1次900点/2次870点			
3	TOEFL(iBT)110点以上取得			1次90点／2次30点		1次900点/2次870点			
4	IELTS7.0以上取得			1次90点／2次30点		1次900点/2次870点			
5	TOEIC945点以上取得			1次90点／2次30点		1次900点/2次870点			
6	英検準1級合格			1次60点／2次20点		1次900点/2次870点			
7	TOEFL(iBT)87点以上取得			1次60点／2次20点		1次900点/2次870点			
8	IELTS5.5以上取得			1次60点／2次20点		1次900点/2次870点			
9	TOEIC785点以上取得			1次60点／2次20点		1次900点/2次870点			
10	英検2級合格			1次30点／2次10点		1次900点/2次870点			
11	TOEFL(iBT)57点以上取得			1次30点／2次10点		1次900点/2次870点			
12	IELTS4.0以上取得			1次30点／2次10点		1次900点/2次870点			
13	TOEIC550点以上取得			1次30点／2次10点		1次900点/2次870点			
14	英検1級合格			1次30点／2次15点		1次900点/2次820点			
15	TOEFL(iBT)110点以上取得			1次30点／2次15点		1次900点/2次820点			
16	IELTS7.0以上取得			1次30点／2次15点		1次900点/2次820点			
17	TOEIC945点以上取得			1次30点／2次15点		1次900点/2次820点			
18	英検準1級合格			1次20点／2次10点		1次900点/2次820点			
19	TOEFL(iBT)87点以上取得			1次20点／2次10点		1次900点/2次820点			
20	IELTS5.5以上取得			1次20点／2次10点		1次900点/2次820点			
21	TOEIC785点以上取得			1次20点／2次10点		1次900点/2次820点			
22	特別支援学校教諭の普通免許状の所有(小学校)			1次30点／2次10点		1次900点/2次870点			
23	特別支援学校教諭の普通免許状の所有(中学校(特別支援学級))			1次30点／2次10点		1次900点/2次820点			
資格要件の確認方法		第2次選考後、合格者のみ証明書等の写しを提出							
実施状況			小	中	高	特支	養教	栄教	合計
		平成28年度受験者数(名)	129						129
		平成28年度採用者数(名)	61						61
		平成29年度受験者数(名)	217	37					254
		平成29年度採用者数(名)	58	9					67
平成30年度受験者数(名)	222	58	25				305		

※第1次選考では面接テスト受験者の総合得点に対して加点。第2次選考では筆答と実技の合計得点に加点。

<特定の資格や経歴等による加点制度>

(堺市)

対象となる校種・教科	1 中学校・中学部(保健体育)、小中一貫(保健体育) 2及び3 小学校・小学部、中学校・中学部(全教科)、小中一貫(全教科) 4 小学校・小学部、中学校・中学部(英語)、小中一貫(英語) 5及び6 全校種等教科	新規・継続	継続					
No.	資格要件	加点内容	加点対象科目の満点					
1	柔道、剣道、相撲又はなぎなたのいずれかにおいて3段以上の段位を有すること。	10点又は5点	300点又は150点					
2	特別支援学校教諭普通免許状(知的障害者、肢体不自由者及び病弱者に関する領域のいずれか)を有すること(見込みを含む。)	20点又は10点	300点又は150点					
3	小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方を有すること(見込みを含む。ただし、中学校教諭普通免許状の教科は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語とする。)	10点又は5点	300点又は150点					
4	実用英語技能検定準1級以上、TOEIC730点以上、TOEFL PBT550点以上(CBT213点以上、iBT80点以上)のいずれかを取得していること。	10点又は5点	300点又は150点					
5	平成29年5月15日までに国公立の学校園において、講師、養護助教諭又は実習助手(期限付き任用を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験を含む。)が通算して3年以上あること。	10点又は5点	300点又は150点					
6	平成29年5月15日までに国公立の学校園において、講師、養護助教諭又は実習助手(期限付き任用を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験を含む。)が通算して5年以上あること。	20点又は10点	300点又は150点					
資格要件の確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ・必要免許状の写し ・英語検定等の資格を証明する書類の写し ・辞令の写し、在職証明書 							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)	186	55					241
	平成28年度採用者数(名)	61	16					77
	平成29年度受験者数(名)	218	73					291
	平成29年度採用者数(名)	57	9					66
	平成30年度受験者数(名)	186	110	10		14	1	321

・1次試験の満点は、「一般選考」及び「身体障害者対象選考」は300点であり、加点上限は30点
その他の選考区分の満点は、150点であり、加点上限は15点

(神戸市)

対象となる校種・教科	1:全区分、2:幼稚園、小学校、中学校、高校	新規・継続	今年度新規					
No.	資格要件	加点内容	加点対象科目の満点					
1	英検、TOEFL、TOEICの点数に応じた加点	非公表	非公表					
2	特別支援免許所持による加点	非公表	非公表					
資格要件の確認方法	免許、資格証明書類の提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成28年度受験者数(名)							0
	平成28年度採用者数(名)							0
	平成29年度受験者数(名)							0
	平成29年度採用者数(名)							0
	平成30年度受験者数(名)							0

※実施状況は非公表。